



ワトソン紙

わたそんし

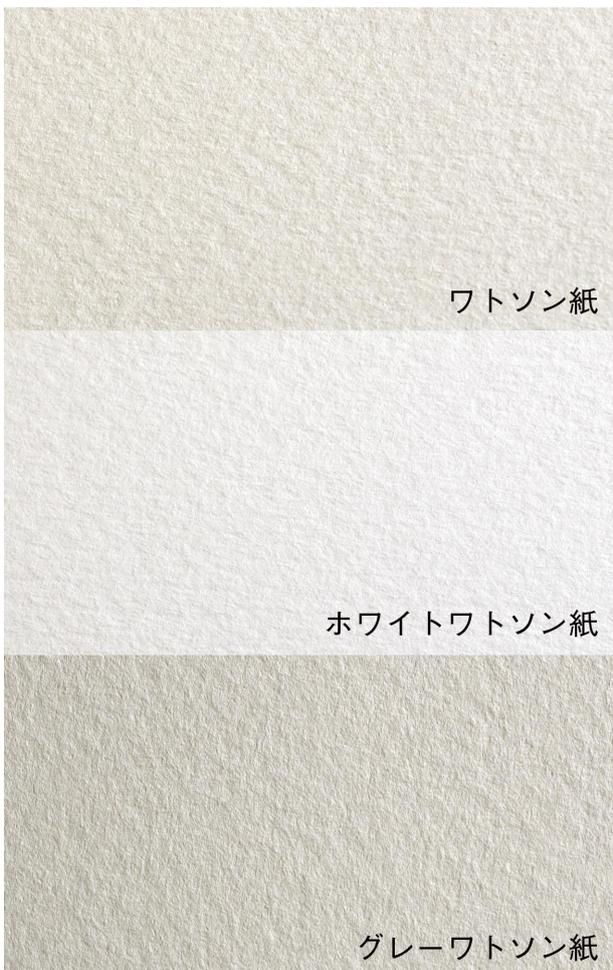


写真 1. ワトソン紙各種 (拡大写真)

※写真中の紙色は、実際とは異なる場合があります。

概要

ワトソン紙は、日本で製造されている高級水彩紙で、やや強めのサイジング（にじみ止め）が施され、適度な紙の肌理（表面の凹凸）の粗さと厚さを持ち、水に強いのが特徴です。また画用紙などと比べ強度があり、消しゴムを使ったときの毛羽立ちが起こりにくいいため、水彩画だけではなくパステル画にも使用できます。高品質で入手しやすいため、ポピュラーな水彩紙の一つです。

ワトソン紙の主原料は木綿パルプで、これに木材パルプを配合して作られている中性紙です。ワトソン紙の持つクリーム色に近い地色は、素材である木材パルプの色です。また、よりいっそう絵具の発色を活かすため、ホワイトワトソンという色味を持たないワトソン紙もあります。これは脱色剤を使わず染料などで自然な白色にしたものです。

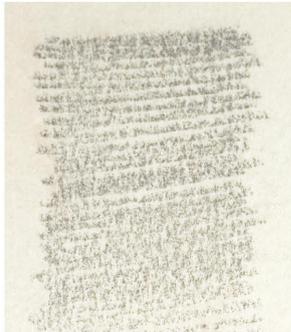
パステル画向けには、グレーワトソンという、寒色系の地色をしたワトソン紙もあります。染料などで強めの色味を持たせてありますが、性質は変わらないので水彩紙としても使用できます。また、厚さやサイズも他の水彩紙より種類が豊富で、厚口、特厚口、超特厚口があり、サイズは四六判（788mm × 1091mm）や10メートルのロール状のもの、水張り用のF40号～F60号サイズやボード状のもの、さらにスケッチブックとして冊子状に綴（と）じられたものなどがあります。ちなみに紙の表裏は、ほとんど差がありませんが、表側は紙の肌理が若干粗く、裏側はやや平滑になっています。

水彩絵具などを使用する時に、水分をはじきすぎってしまう場合があります。それはサイジングによるもので、水を含ませた刷毛で紙の表面を何度か撫（な）で、布で水分を取り除き、完全に乾かしてから使用すると良いでしょう。

ワトソン紙は画材店などで購入できます。

※描画例（写真）は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。（一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。）

あ
か
さ
た
な
は
ま
や
ら
わ
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
数字



鉛筆



透明水彩

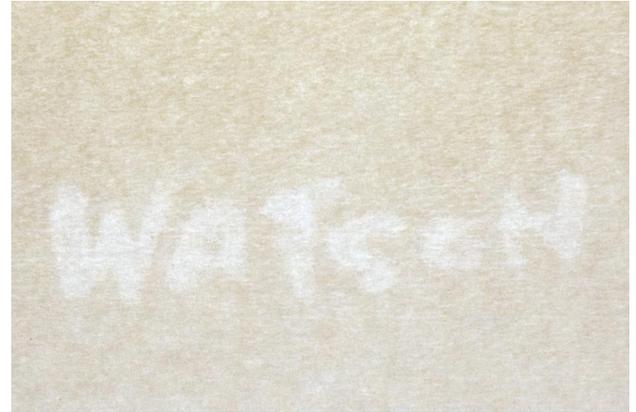
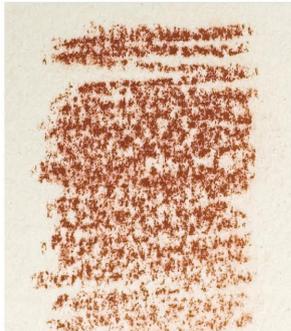


写真3. ウォーターマーク (拡大写真)



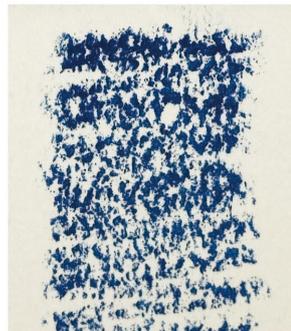
コンテ



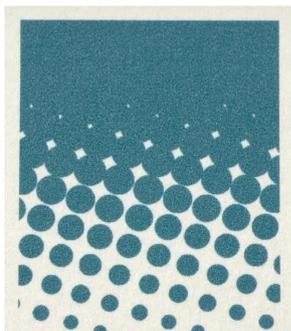
墨汁



ペンインク



パステル



インクジェット

写真2. ワトソン紙における描画例 (拡大写真)

※描画例(写真)は、用紙の特性や表現の可能性を示すためのテストサンプルであり、特定の描画材の使用を薦めているものではありません。(一般的には適していないとされる描画材もあえて使用しています。)